

愛隣の風

愛隣園 基本理念



律法の専門家が、イエスを試そうとして尋ねた。「先生、律法の中で、どの掟が最も重要でしょうか。」

「イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』」

「第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』」
律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。」
(マタイ伝二十二章三十五〜四十節)



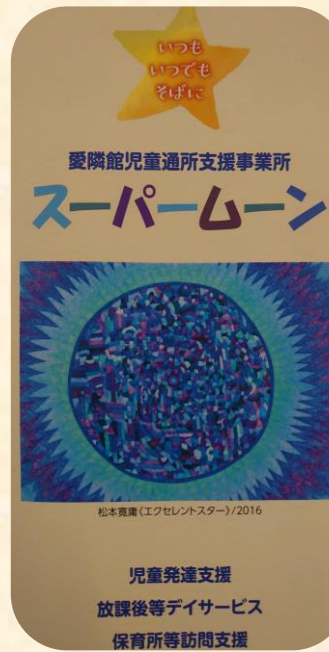
愛隣園の新しい家族です♪



施設長作子ヤギ看板

夏の暑い日が続く中、八月十一日に新しく子ヤギが二匹生まれました。

男の子が『隣くん』。女の子が『愛ちゃん』です。生まれてすぐに自分の足で立ってメリーのお乳を飲んでいきます。新しい命の誕生に伴って、子ども達も積極的に世話をしようとしてくれています。
ヤギ達との触れ合いを通じて、子ども達も何か学んでくれることがあれば、と思います。



スーパームーン
パンフレット

障害児支援の輪が広がりました。

施設長 迎田浩二

障害者総合支援法と児童福祉法の一部が2016年に改正され、2018年4月から施行、障害者と障害児が地域において、より自分の望む生活が出来ることを目指す事となりました。当法人の障害者支援施設「愛隣館」にも児童通所支援事業所スーパームーンが開設され、児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援の事業が開始されました。その中で、保育所等訪問支援事業は、児童養護施設にも支援を必要とする障害児が増えているという背景から、保育所等に加え、乳児院・児童養護施設にも対象が拡大されました。集団生活適応訓練や施設スタッフへの支援も行われます。
早速、数名の子ども達を保護者、児童相談所との連携のもと登録させていただきました。今後とも、連携を強化する中で、障害児の皆が適切な支援を受け、伸々と地域で明るく生活できることを願います。

新入職員の紹介 ～3名の職員が、愛隣園に入職されました～



8月からホワイトハウス(女の子ホーム)で児童指導員として働かせていただくことになりました。宮崎真里亜といます。まだまだ覚えていく事も多く大変ですが、子ども達ひとりひとりとしっかり関わっていきけるように努めていきたいと思っています。よろしくお願いします。

10月よりキッチンハウスで働いています、調理師の松永美樹と申します。かなりの人見知りで口下手ですが、怖くはないので気軽にお声掛けください。ご迷惑お掛け致しますが、頑張りますので、よろしくお願い致します。(写真左)

10月より調理師としてお世話になっております、鞭馬由美です。明るく元気一杯の調理職員の皆さんと毎日楽しくお仕事させていただいております。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますがよろしくお願い致します。(写真右)



～2019 夏コラム～ 里親支援専門相談員



令和元年8月11日に、職員3名、子ども達5名で大牟田海上花火大会にご招待頂きました。

日頃より、里親制度の啓発活動で、お世話になっており、そのご縁もあって、一般開放されていないイオンモール大牟田の屋上を開放していただきました。普段よりも近い距離で大迫力の花火を間近で見ることができ、子ども達もとても喜んでいました。

里親支援専門相談員
森田 浩昭

温かいご支援に感謝申し上げます

(H31年4月からR1年9月まで)

- | | | |
|------------------|--------------|------------|
| 熊本ゼミナール株式会社 様 | 漲水学園 様 | 株式会社 丸美屋 様 |
| オートサルーン羽山 坂口 様 | 愛隣園 (沖縄) 様 | 九州労働金庫 様 |
| 山崎製パン株式会社 熊本工場 様 | マルハン山鹿 様 | 熊本善意銀行 様 |
| 鹿本農業協同組合園芸部会 様 | ミ・ルアール 様 | |
| 生命保険協会熊本県協会 様 | 日本漢字能力検定協会 様 | |



♪子ども達の思い出&季節の行事♪

愛隣園田植え

6月23日に愛隣園恒例の田植えが行われました。初めての子もそうでない子も、苗を綺麗に植えようと頑張っていました。

田んぼに足を取られて、泥だらけになる子ども達も大勢いました。

途中からは泥合戦が始まり、職員も子ども達も皆泥だらけ！終わった後は冷たいアイスを食べ、体をリフレッシュしていましたよ。



児童養護施設球技大会

7月29日に球技大会(野球)が開催されました。2試合し一勝一敗で子ども達も一生懸命に白球を追いかけ打ったり守ったり頑張りました。

勝ち進むことはできませんでしたが、試合が終わった後のお疲れ様会の焼き肉会での子ども達はやり切った様子でお肉を沢山食べていました。

また、来年は九州大会を目指して頑張ります。応援していただいた皆様ありがとうございました。



愛隣園七夕のそうめん流し大会

7月7日、焼肉・そうめん流しの会を行いました。いつものハウスメンバー以外で話したり遊んだりしながら、子どもたちはとても嬉しそうに食事を楽しんでいました。また、そうめん流しの流し台も職員が本格的に竹から作り、初めて流しそうめんをした子も驚きながらも沢山食べてくれました。外で大勢で食べる食事の機会も中々無い為、子ども・職員共にいい経験になりました。



社会福祉法人愛隣園 第26回ふれあい祭

9月21日に法人ふれあい祭がありました。今年は台風接近で室内での開催でしたが、沢山の方々が来てくださいました。子ども達も金魚すくいや美味しいものを食べ、笑顔も見られとても楽しそうな様子でした。また、新人職員の出し物のダンスではクレヨンしんちゃんの曲に合わせてみんな一生懸命に踊っていました。子ども達にとっても楽しいお祭りになりました。ありがとうございました。



山鹿灯籠祭り

8月16日に山鹿千人灯籠祭りが行われ、園からも6人の女の子が千人灯籠踊りに参加しました。また、小学生対象の少女灯籠踊りにも4人の女の子が参加し、暑い中にも関わらず、浴衣を着て頭には灯籠を装着し、最後まで頑張っていました。テレビでも山鹿灯籠踊りが特集され、暗い中での灯籠がゆれる灯りがとても綺麗でした。

15日に行われる予定だった山鹿灯籠花火大会は、雨で中止となりましたが、子ども達の踊る姿を見られて良かったです。



児童養護施設第60回合同キャンプ

7月23日から26日の4日間。阿蘇の久木野キャンプ場で行われた、第60回児童養護施設合同キャンプに男子、女子共に参加しました。

未経験の子ども達に、経験した子どもが、キャンプについて教えてあげる姿や、做って一生懸命取り組む姿が多く見られました。

最終日の撤収では、『まだ帰りたくない』と、とても楽しい思い出となったようでした。



♪子ども達の思い出&ハウスの行事♪

今年の夏休みレクリは、てお杉の家では児童からの希望を尊重して、児童全員とてお杉の家の全職員で大分に一泊二日の旅行に行ってきました。台風の影響を心配していましたが、特に影響無く実施することができました。1日目、移動中の車内は皆いつもよりお喋りで楽しそうに大分で何をするか等を話し合っていました。2日目は城島高原パークに行きました。各々が好きなアトラクションを楽しんでいましたが、特にゴーカートは皆から好評で何度も乗っていました。



～てお杉の家～

今年の夏休みは、一泊二日で大分に宿泊してきました。プールやウォータースライダーでたくさん遊べるまで遊び、夜は広い温泉でゆっくりと疲れを癒していました。夕食のバイキングでは、浴衣を着て、自分の好きなメニューをお皿に山盛りにして食べていました。

翌日は大分の水族館『うみたまご』に行き、沢山の魚たちを見て楽しんでいました。

子ども達以上に職員にとっても良い思い出となりました!!!



～オレンジハウス～

9月6日から大分のホテルに一泊二日で宿泊レクリに行ってきました。初日は夕食のバイキングを楽しみ、夜はプロジェクションマッピングで彩られた温泉に入りました。二日目はボーリングや室内プールで楽しみました。ボーリングは初めてプレーした子もあり、他の子達が教えてあげていました。職員も子どもたちの優しい面を垣間見ることができた、素敵なレクリとなりました。



～パールハウス～

自立体験を終えてまず大変だったことは料理です。買い物から料理をしないとイケなかったことが大変でした。材料を考え予算内で購入するのが難しく、その後材料で調理をするのが大変でした。課外とバイトがあった為、時間の使い方に気を付け、普段よりもゆっくりする時間が少なく早起きするのも大変でした。次に良かったところです。一人で自立体験を行ったため、自分のペースで日常生活を送ることができました。また献立も自分で決めることができるため好きな食べ物を食べることができました。しかし、献立を考える際、栄養バランスを考えるのが難しかったです。改めて自立体験を終えて日ごろしてもらっている事に感謝することができました。次回も自立体験があるので今回行ったことをもとに頑張りたいです。 高校3年 M・S

～ホワイトハウス～



～彦岳ハウス～

彦岳ハウスの夏のレクリは、「最高の夏の思い出」を目指し、子ども達一人一人が一番行きたい場所に行きました。計画から子ども達と話し合い、実現するまで試行錯誤する中で、かけがえのない夏の思い出を作ることが出来ました。

